



濱井さん

舞踊公演に移動図書館

とりぎん文化会館で行われた舞踊公演「死者の書 再読」に出かけました。「死者の書」は民俗学者であり詩人でもあった折口信夫さんが遺した小説。この世界観を踊りと音楽で表現されていました。音楽はインドネシアの楽器ガムランと江戸長唄という組み合わせで、今までに見たことのないような構成のステージでした。

さらに、会場のエントランスには県立図書館が移動図書館として出張。折口信夫さんの他の作品や、ダンスやアート、芸術関連の書籍を選書されていました。貸出カードを持っていなくてもその場で発行してくれて、すぐに借りて帰れるとのこと、これにも感動しました。

